

**公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部**  
**地域産業活性化研究会 2018 in 川崎 実施報告書 (HP)**

開 催 日	平成30年2月1日 (木)
開 催 時 間	14:40～16:30
名 称	地域産業活性化研究会 2018 in 川崎
主 催 者 等	主催：日本技術士会 神奈川県支部 (担当委員会：地域広報小委員会) 後援：川崎市、川崎商工会議所、 公益社団法人神奈川産業振興センター、神奈川県中小企業団体中央会
開 催 場 所	川崎市 とどろきアリーナ 川崎国際環境技術展 2018 内センターステージ
行 事 内 容	「“水素社会” への期待」をテーマに、実現への技術とインフラ整備の現状を語る2名の講師による講演会。
参 加 人 数	130名(当日申し込みを含む)

**概要**

講演会 (14:40～16:30)

**【講演1】 水素社会における水素サプライチェーンの意義**

新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部主任研究員 横本 克己 氏  
 水素エネルギーに関する全般的なご説明を国の立場から話された。水素・燃料電池戦略ロードマップについても言及され、基盤整備の段階から本格導入への道程目標を示された。また、システム開発 (Power to Gas) やベンチャー支援についてもご紹介があった。

**【ご挨拶】 ブルネイ ダルサラーム大使館 特命全権大使 カミラ ハニファ氏によるご挨拶**

**【講演2】 2020年 ブルネイ国 - 川崎間水素サプライチェーン実証スタート**

千代田化工建設(株) 水素チェーン事業推進ユニットチームリーダー 大島 泰輔 氏  
 有機ケミカルハイドライドを用いた常温常圧液体輸送を可能にする SPERA 水素<sup>®</sup>技術の概要、NEDO プロジェクトの紹介3件、水素サプライチェーン商用化の意義と具体的な道筋が説明された。また、川崎市との連携・協力や戦略のシナリオも示された。(2030年代に水素年間30万トン供給、目標単価30円/Nm<sup>3</sup>、1GW 発電用ガスタービン専焼実証の達成を目指す)



NEDO  
横本克己講師



ブルネイ ダルサラーム大使館  
特命全権大使カミラ ハニファ氏  
会場風景



千代田化工建設(株)  
大島泰輔講師